

新型コロナウイルス感染症に関する要望書

1 年半以上の長きにわたる新型コロナウイルス感染症の猛威に対し、根室市民の命、健康、くらし、生業を守るため石垣市長を先頭に、治療の最前線にたつ市立根室病院や各担当部署の皆様が日々大変な職責を果たされていることに心より敬意を表します。

根室市は5月以降の一連の感染拡大、市立根室病院におけるクラスター発生への対策に加え、全市民を対象にしたワクチン接種という経験したことの無い事業を同時並行で実施してきました。この間の課題のうち以下の点について、今後の第5波の感染拡大への備えの観点からも、市として関係機関と連携しながら対応を検討して下さることをお願いします。

記

1. 市立根室病院や北海道との連携のもと、自宅等療養者に対する日常的な状況や「困りごと」の把握を行うこと。
 - 病床の逼迫のなか北海道の調整によって、根室市においても自宅療養者が複数生じた。病状把握は根室保健所によって行われる一方で、一般市民が自らの責任のもとに徹底した感染対策をしなければならない自宅療養では、それぞれの生活環境によって様々な「困りごと」が生じた可能性がある。
 - 市が保健所や市立根室病院の連携のもと、そうした小さな声を拾い上げ、必要に応じて手だてをとるための仕組みについて検討していただきたい。
 - また、今後の感染拡大に向けた準備・検討をすすめるためにも、これまでの自宅等療養者に対するアンケートの実施など何らかの実態把握調査を検討していただきたい。
2. 要介護者等に対する介護サービス利用にむけた支援を検討すること。
 - これまでも要介護者等が発熱等の症状がある場合に在宅介護サービスが提供されないケースがある。今回はさらに、新型コロナウイルス感染症で退院した後に一定期間、介護サービスが提供中止になるケースも懸念された。
 - 要介護者等や家族の生活に影響を及ぼしかねない課題であり、医療機関と介護サービス事業所を含めた協議の上、介護スタッフの安全確保と同時に介護サービスが円滑に提供できるよう、市としても必要に応じた支援策を検討していただきたい。
3. 市としても感染者された方に対する差別、偏見を無くすための啓発等への取り組みをいっそう強化すること。

以上